HITACHI
Inspire the Next

取扱説明書

かんたんガイド

液晶プロジェクター

CP-X4020J

(形名：CP-X4020)

**このたびは弊社の液晶プロジェクターをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。**

最初にお読みください

本品をより安全に、より有効にご利用いただくため、ご使用の前に、この「かんたんガイド」、および取扱説明書 CD-ROM 内の「取扱説明書 - 詳細版 -」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
本機には保証書が添付されています。内容をご確認のうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

はじめにお読みください

▽ 本品をご購入頂いた後、最初にご確認頂きたい事が書いてあります。必ずお読みください。

準備と設置

▽ 本機を設置し、電源を入れる前に、リモコンの準備やケーブルの接続を行います。

基本操作

▽ 電源を入れた後、映像を投射し、画面の調節を行います。
本機を使い終わりましたら、電源は正しく切ってください。

点検とお手入れ

▽ 本機を長くご利用いただくため、ぜひ定期的にご点検やお手入れをお願いします。

故障かなと思ったら

▽ 本機を使用中、又は使用する前に困ったことがございましたら、こちらをご確認ください。

ご参考

《本機の特長》

本機は、小さなスペースで大画面を表示できる液晶プロジェクターです。本機は以下のような特長を備えています。

- 豊富な入出力端子を揃えており、幅広い用途にご使用いただけます。
- 2 層式のエアーフィルター採用で、頻繁なお手入れの手間を省き、長くご使用いただけます。
- 8W × 2 のスピーカ (モノラル) 内蔵で、教室のような大きなスペースでも十分な音量を提供します。

《取扱説明書について》

本書「かんたんガイド」は、最初に本機をご利用いただくのに便利な、簡易版 取扱説明書です。本機と一緒に保管し、必要なときにご参照ください。

本機の取扱説明書には、さらに、「取扱説明書 - 詳細版 -」を収録した、取扱説明書 CD-ROM をご用意しています。まずは本書をお読みになり、さらに詳しい情報については、「取扱説明書 - 詳細版 -」をご参照ください。取扱説明書 CD-ROM のご使用方法については、「取扱説明書 CD-ROM を使う」(🕮31) をご参照ください。

また、「かんたんガイド」、および「取扱説明書 - 詳細版 -」は、日立のホームページ、「サービス＆サポート」欄から、画面表示に従って、簡単にダウンロードしていただけます。

日立ホームページ URL　http://www.hitachi.co.jp/proj/

お知らせ

- 本書では、特に断わりの無い限り、「説明書」はこの製品に付属する全ての文書を意味し、「本品」は付属品を含むこの製品の全てを意味します。
- 本書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
- 本書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本書の内容の一部、あるいは全部を無断で複写、転載しないでください。

《本書の見かた》

以下をご参考に本書をご活用ください。

① 見出し：奇数ページの右端に記載されています。

② **お守りください**：本機、およびその他の周辺機器を安全かつ快適にご使用いただくための情報を記載しています。この表示に従ってください。

③ お知らせ：本機や接続する機器などに関する参考情報を記載しています。

④ 🕮：このマークのあとに、ご参照いただきたい記事のページや場所を記載しています。

例）🕮**3** ⇒ 本書の 3 ページ（もくじ）をご参照ください。

🕮 ***詳細版*** ⇒ 取扱説明書 CD-ROM 内の「取扱説明書 - 詳細版 -」をご参照ください。

《もくじ》

はじめにお読みください・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～14
正しくお使いいただくために《**必ずお読みください**》・・・・・・・・・・ 4
（絵表示について、絵表示の意味、使用上のご注意）
付属品を確認してください・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
各部の名称と働き・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
（プロジェクター、リモコン）

準備と設置・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15～18
設置する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・15
他の機器と接続する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
リモコンを準備する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
電源に接続する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・18

基本操作　映像を投射する・・・・・・・・・・・・・・・・ 20～23
電源を入れる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
ズーム (表示倍率) とフォーカス (焦点) を調節する・・・・・・・・・・・20
傾きを調節する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・20
入力信号を選ぶ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
音声を調節する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
簡単メニューを操作する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
電源を切る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23

点検とお手入れ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24～27
ランプを交換する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24
（ランプについてのご注意、ランプの交換方法）
エアーフィルターを掃除／交換する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・26

故障かなと思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28～30
メッセージ表示について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・28
インジケータ表示について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・29
故障と間違いやすい現象について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・30
取扱説明書 CD-ROM を使う・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・31

ご参考・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31～35
仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32
外形寸法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
保証とアフターサービスについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34
お客様ご相談窓口・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・35

⚠警告	ご使用の前に、必ず本書を全てよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。

正しくお使いいただくために《必ずお読みください》

この製品をご使用になる前に、必ずこの「正しくお使いいただくために」をよくお読みになり、ご理解のうえ正しくお使いください。誤ったご使用や通常の範囲を超える取扱いによる危害や損害については、いかなる場合も弊社は責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■絵表示について

本書ではこの製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損傷を発生する可能性があります。

■絵表示の意味

「注意」を示します。
この記号の後に続けて「気をつけなければならない」ことを記載しています。

「破裂注意」

「感電注意」

「高温注意」

「禁止」を示します。
この記号の後に続けて「してはいけない」ことを記載しています。

「分解禁止」

「水ぬれ禁止」

「ぬれ手禁止」

「強制」を示します。
この記号の後に続けて「必ず行わなければならない」ことを記載しています。

「電源プラグをコンセントから抜け」

「アース線を必ず接続せよ」

■使用上のご注意

⚠警告

異常が発生したら、すぐに電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜け

そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
次のような場合はすぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご相談ください。
▶煙が出ている、へんな臭いがする、へんな音がする。
▶内部に異物や液体（金属や水など）が入った。
▶落とした、強い衝撃をあたえた。
▶本機や接続している電源コードやケーブル類に損傷がある。
電源プラグはすぐに抜くことができるように設置してください。
お客様による修理は危険ですので絶対におやめください。

子供やペットに注意する

誤った取扱いは、火災、感電、けが、やけど、視力障害などの原因となります。
子供やペットの手足が届かないところに設置、あるいは保管してください

異物や液体を入れない

火災や感電の原因となります。
ぬれたものや、小さなもの、燃え易いものを本機の近くに置かないでください。
万一、異物や液体が入ってしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

ぬらさない

水ぬれ**禁止**

本機や電源コードなどがぬれると火災や感電の原因となります。
水を掛けたり、水や雨の掛かる場所に置いたりしないでください。

不安定な場所に置かない、不安定な置きかたをしない、衝撃をあたえない

ぶつけたり落としたりするとけがや破損、故障の原因となります。また、そのままご使用になると火災や感電の原因となります。
万一、衝撃をあたえてしまったら、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
▶移動するときはコード、ケーブルを外し、レンズカバーを装着してください。
▶設置器具は指定品をご使用になり、天吊り（天井設置）などの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。
▶アジャスタ脚の調節（📖20）以外は傾けて設置しないでください。
▶底面以外を下にして置かないでください。

高温に注意する

高温注意

本機の使用中、排気口や排気口から出る空気、ランプカバーは高温になり、やけどや火災の原因となります。
使用中や使用後しばらく、排気口やランプカバーには、近づいたり触れたり、近くにものを置いたりしないでください。
▶熱の伝わり易いものや燃え易いもの、熱に弱いものの近くで本機を使用しないでください。

⚠警告

分解しない、改造しない

分解禁止

内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。
▶本機のキャビネットや付属品のケースは、本書に記載のある場合を除き、開けないでください。
▶内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。

レンズをのぞかない

本機の使用中は、レンズから強い光が出ます。視覚障害などの原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルやコネクタは所定のものを使用する

仕様の合わない電源コードや信号ケーブルを使用すると、火災や感電、故障や電波妨害の原因となります。
本機に同梱されているものは、傷や破損が無いことをご確認のうえ、必ず同梱品をご使用ください。同梱品以外の接続ケーブルやコネクタは、販売店にご相談のうえ適切なものをご使用ください。

電源プラグは付着物をふき取って使用する

本機の AC IN（電源端子）や電源コード、電源アダプタのプラグ（刃）部分やその周辺に、ほこりや金属類などが付着していると、火災や感電の原因となります。

電源プラグは、指定（本体に表示）の電源電圧のコンセントに、根元まで確実に差し込んで使用する

電源の接続が不完全の場合、感電の原因となったり、発熱して火災の原因となります。
また、指定の電圧以外でのご使用は、火災や感電の原因となります。
必ず、**交流 100V のコンセントに接続してご使用ください。**
▶ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。

アース線を必ず接続する

アース線を必ず接続せよ

アース線、接地端子を接地しないと、火災や感電、電波妨害の原因となります。また、アース線をコンセントに差し込むと、火災や感電の原因となります。
アース線は、本書の「電源に接続する」（🕮18）に従って、正しく接続してください。

電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルやコネクタを傷つけない

損傷のある電源コードや電源アダプタ、信号ケーブルなどを使用すると、火災や感電の原因となります。
傷や破損がある場合は使用せず、販売店にご相談ください。

ぬれた手で電源コードや電源アダプタを取り扱わない

ぬれ手禁止

感電の原因となります。

⚠警告

お手入れするときは電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜け

電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。
お手入れするときは、電源を切り、電源プラグを抜いてください。
必ず本書の「点検とお手入れ」（🕮24 ～ 27）をお読みになり、正しくお手入れしてください。

排気口に顔を近づけない

ランプが破裂した場合に、水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが出ることがあります。**万一、目や鼻、口に入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。**

ランプの取扱いに注意する

本機は、寿命のあるガラス製の高圧水銀ランプを使用しています。ランプの取扱いを誤ると、やけどの原因となったり、破裂してけがなどの原因となります。

破裂注意

万一、破裂した場合（破裂音がします）は、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜いてください。排気口などから水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが出ることがあります。十分換気し、吸い込んだり、目や口に入らないようにご注意ください。万一、目や鼻、口に入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。内部にはガラス片が散乱しているおそれがありますので、ランプカバーを開けずに販売店へご連絡ください。

高温注意

使用中や使用後、ランプとその周辺は高温となり火傷の原因となります。ランプの交換は電源を切ってプラグを抜き、45 分以上放置して冷ましてから行ってください。
本書の「ランプについてのご注意」（🕮24）、「ランプの交換方法」（🕮25）をお読みになり、指定のランプを正しくご使用ください。

▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

電池の取扱いに注意する

電池の取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいのでお子様やペットが飲み込むおそれがあります。

破裂注意

万一、飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。
液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣服に着いた場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

▶交換するときは指定のタイプ（🕮17）の新しい (未使用) 電池を使用してください。
▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
▶子供やペットの手足が届かないところに保管してください。
▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

⚠注意

重い物を載せたりぶら下げたりしない

不安定になって落ちたり倒れたりするとけがや破損、故障の原因となったり、そのまま使用すると火災や感電の原因となることがあります。

▶本書に指定のある場合や所定の別売品（販売店にお尋ねください）以外は、本機に取り付けたりぶら下げたりしないでください。

高温になるところに置かない、吸気口、排気口をふさがない

高温になるところに置いたり、通風が正常に行われないと、内部温度が上がり過ぎ、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。また、熱や温風を当てるとキャビネットなどが傷む原因となることがあります。

▶本機は、風通しの良いところに、周辺の壁や物から 30cm 以上離して設置してください。
▶熱源の近くや直射日光、温風が当たるところには置かないでください。
▶本機や付属品を電子レンジに入れないでください。
▶通風口をふさいだり、近くに物を置いたりしないでください。
▶布団やカーペット上に置いたり、布などを被せたりしないでください。

湿気、ほこりの多いところ、煙や油煙の当たるところ、塩害のおそれのあるところに置かない

内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。湿気やほこりの多いところには置かないでください。

▶本機や付属品を、屋外に置かないでください。

磁気を発生するものを近づけない

本機に磁気を近づけたり、磁気を発生するものの近くに置いたりすると、冷却ファンが止まったり回転速度に異常を生じることがあります。内部温度が上がり過ぎると、本機の電源が自動的に切れたり、火災や故障の原因となることがあります。

▶付属品、本書に示される指定品を除き、磁気シールドが施されていない磁気製品（磁気による盗難防止装置など）を本機に使用したり近づけたりしないでください。

使用しないときは電源プラグを抜く

電源プラグをコンセントから抜け

本機の電源を完全に切るためには電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグを接続したまま放置すると、火災などの原因となることがあります。

落雷のおそれがあるときは使用しない

落雷があった時に本機を使用していると、火災や感電の原因となることがあります。
落雷のおそれがあるときは、使用を中止し、電源プラグを抜いてください

年に一度は内部のお手入れを販売店に依頼する

内部にほこりなどがたまると、火災や感電の原因となったり、故障や映像不良の原因となることがあります。

年に一度は、内部の点検と掃除を販売店にご依頼ください。お客様による内部のお手入れは危険ですので、絶対におやめください。

⚠注意

フィルターユニットを定期的にお手入れする

フィルターユニットがほこりなどで詰まったり正しく取り付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて、本機の電源が自動的に切れたり、やけどや火災、故障の原因となることがあります。

▶必ず本書の「エアーフィルターを掃除／交換する」（📖26, 27）をお読みになり、指定のエアーフィルターを正しくご使用ください。

▶エアーフィルターやフィルターカバーを外した状態では使用しないでください。

本機のランプ点灯中に映像を消すには、指定の方法を使用する

本機のランプが点灯中に映像を消したい場合には、ブランク機能（📖14）を使用してください。レンズの前に物を置いたり、レンズに紙や布などを貼ったりすると、レンズを損傷するおそれがありますので、おやめください。

取扱説明書 CD-ROM は、パソコンの CD ドライブで使用する。

取扱説明書 CD-ROM を CD プレイヤーなどで再生すると、突然大きな音が出て、聴力障害やご使用のスピーカの破損の原因となることがあります。
必ずパソコンの CD ドライブで使用してください。

CD-ROM の取り扱いに注意する

取扱説明書 CD-ROM は、ケースに入れて大切に保管してください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。

お守りください

長時間見るときは、ときどき目を休めてください

長時間連続して画面を見ると目が疲れます。
ときどき画面から離れて目を休めてください。

レンズを傷つけないでください

破損や故障の原因となったり、映像不良の原因となることがあります。

▶レンズに硬いものを当てたり、こすったりしないでください。

▶取付けレンズなどは、所定のもの（販売店にお尋ねください）以外取り付けないでください。

レンズに直接手を触れないでください

レンズがくもったり、汚れたりすると、映像不良の原因となることがあります。

キャビネットやリモコンの取扱い、お手入れについて

取扱いやお手入れの方法を誤ると、表面が変質したり塗装がはがれることがあります。お手入れは正しい方法（📖 ***詳細版***）で行ってください。

▶揮発性の薬品や、溶剤、研磨剤、およびスプレーなどは使用しないでください。

▶ゴムやビニール製品を長時間接触させたままにしないでください。

▶化学雑きんなどのご使用については、その注意書に従ってください。

梱包材は大切に保管してください

修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

お知らせ

●寿命部品について

光学部品（ランプ、液晶パネル、偏光板、PBS（Polarized Beam Splitter）、コントラストアップフィルム）および冷却ファンは寿命部品です。長時間お使いになると修理交換が必要になります。

▶本機は長時間連続使用を想定して設計されたものではありません。毎日 6 時間以上ご使用になる場合は、1 年未満でも寿命部品の交換が必要になることがあります。また 6 時間以上の連続使用や、短時間でも繰り返しご使用になったりすると、寿命部品の交換サイクルは早くなります。

▶本機を傾けて使用すると、部品の寿命を縮めることがあります。アジャスタ脚の調節範囲以外は傾けて使用しないでください。

▶電源を頻繁に入れたり切ったりすると、部品の寿命を縮めることがあります。

●映像特性について

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。投写面（スクリーンや壁面など）の特性により、映像の色あいやコントラストが、テレビやパソコンのモニタとは異なることがありますが、故障ではありません。
偏光スクリーンでは画面が赤味を帯びて見える場合があります。ご使用にならないでください。

●液晶パネルの焼きつきについて

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。静止画像や動きの少ない映像、液晶パネルの仕様と縦横比が異なる映像などを、長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて、その映像が残像として残ることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

●輝点、黒点について

本機は液晶パネルを使用した投写装置です。画面上に輝点（光ったままの点）や黒点（光らない点）が見られることがありますが、液晶特有の現象であり、故障ではありません。

●結露にご注意ください

本機を、低温の室外から高温の室内に持ち込んだ場合など、本機の内部の投写レンズやミラーに結露が生じ、映像がぼやけたり、見えなくなったりすることがありますが、故障ではありません。
本機が周囲の温度に慣れるに従って露が消え、映像は正常にもどります。

●冷却ファンの騒音について

本機は、使用環境に合わせて冷却ファンの回転速度を制御する機能を備えています。周囲の温度が高いと冷却ファンの回転速度も速くなり、騒音も大きくなります。

●セキュリティ・スロット／バーについて

本機のセキュリティ・スロットおよびセキュリティ・バーは盗難を完全に防ぐものではありません。盗難防止対策のひとつとしてご使用ください。

●この製品（付属品を含む）は日本国内でのみ、ご使用になれます。

日本国外ではご使用にならないでください。また、この製品の保証書は日本国内でのみ、有効です。
This product (including the accessories) is designed for use in Japan only, and cannot be used in any other countries. The warranty appended to this product is void out of Japan.

●電源高調波について

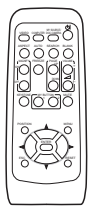
JIS C 61000-3-2 適合品

JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第 3-2 部：限度値 - 高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

付属品を確認してください

この製品にはプロジェクター本体（本機）の他に、以下のものが含まれています。万一不足しているものがあれば、すぐにお買い上げの販売店にご連絡ください。

リモコン

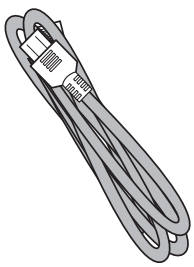


単３型乾電池× ２個
（リモコン用）

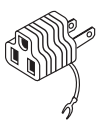
レンズカバー

本機のレンズを保護するカバーです。
本機をご使用にならないときは、
必ず本機のレンズに装着してください。

電源コード

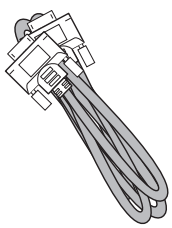


電源アダプタ



電源コードと
二つ穴コンセント
をつなげる
アダプタです。

コンピュータケーブル

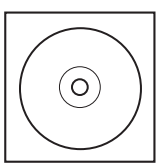


パソコンの映像信号を
本機に入力するための
ケーブルです。

かんたんガイド（本書）

最初に本機をご利用いただくのに
便利な、簡易版 取扱説明書です。
本機と一緒に保管し、
必要なときにご参照ください。

取扱説明書 CD-ROM



「取扱説明書 - 詳細版 -」
が収録されています。

保証書

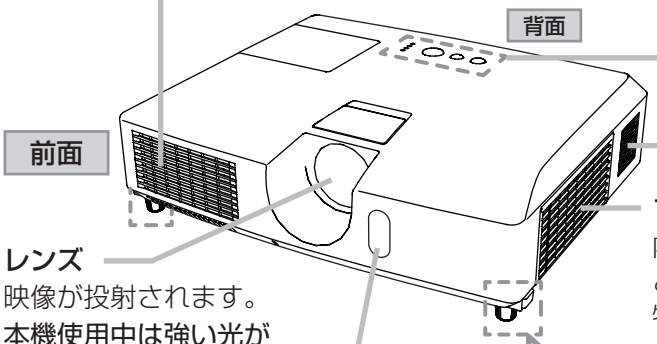
お買い上げの販売店名、
お買い上げ日をお確かめのうえ、
大切に保管してください。

お守りください

●梱包材は大切に保管してください。修理や引越しなどの輸送には、お買い上げの際に使用されていた梱包材をご使用になり、正しく梱包してください。特にレンズ周りの梱包にはご注意ください。

各部の名称と働き

■プロジェクター（本機）



吸気口 本機内に空気を取り込む入り口です。
物や手などでふさがないでください。

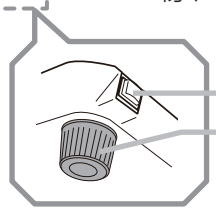
操作パネル 右頁参照
本機を操作するためのボタン、
および本機の状態をお知らせする
インジケータです。

スピーカ ここから音声が出ます。

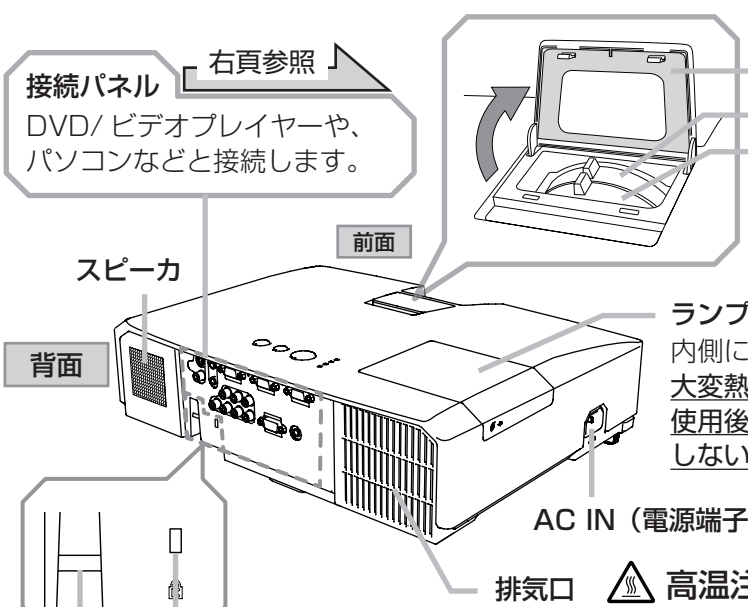
フィルターカバー (📖26, 27)
内側にエアーフィルター（フィルターユニット）
と吸気口があります。
物や手などでふさがないでください。

レンズ
映像が投射されます。
本機使用中は強い光が
出ますので、絶対に
のぞかないでください。

リモコン受光部 (📖14)
リモコンからの信号を受け取ります。



アジャスタボタン
アジャスタ脚 (📖20)
本機の傾きを調節します。
左右に一組ずつ、計二組あります。



接続パネル 右頁参照
DVD/ ビデオプレイヤーや、
パソコンなどと接続します。

ズーム／フォーカスリングカバー
フォーカスリング
ズームリング (📖20)
画面のズーム（表示倍率 ）、
およびフォーカス（焦点距離）を
調節します。

スピーカ

ランプカバー (📖24, 25) ⚠ **高温注意**
内側にランプが取り付けられています。
大変熱くなりますので、本機を使用中、
使用後しばらくは、近づいたり触れたり
しないでください。

AC IN（電源端子） (📖18) 電源コードを接続します。

排気口 ⚠ **高温注意**
本機内部の排熱口です。
大変熱くなりますので、本機を使用中、使用後しばらくは、
近づいたり触れたりしないでください。

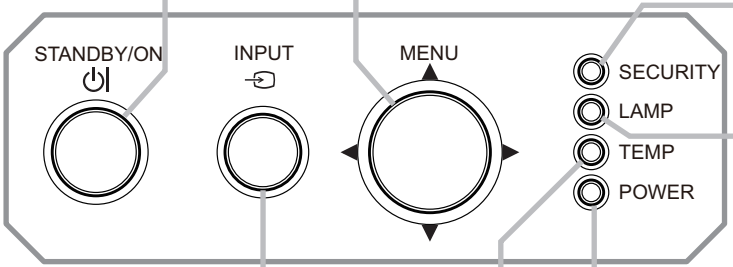
セキュリティ・スロット

セキュリティ・バー (📖10, 15)
ケンジントンロックなどの盗難防止用ロック、
および盗難防止ワイヤー／チェーンを取り付けます。

操作パネル

STANDBY/ON ボタン (📖20, 23) 本機のパワーオン／オフ (スタンバイ) を切り替えます。

MENU ボタン (**▲/▼/◀/► カーソルボタン**) (📖20)
メニュー画面を表示します。(メニューを操作します。)



SECURTY インジケータ (📖29)
本機のセキュリティ設定の状態についてお知らせします。

LAMP インジケータ (📖29)
本機のランプの状態についてお知らせします。

INPUT ボタン (📖21)
映像信号を切り替えます。

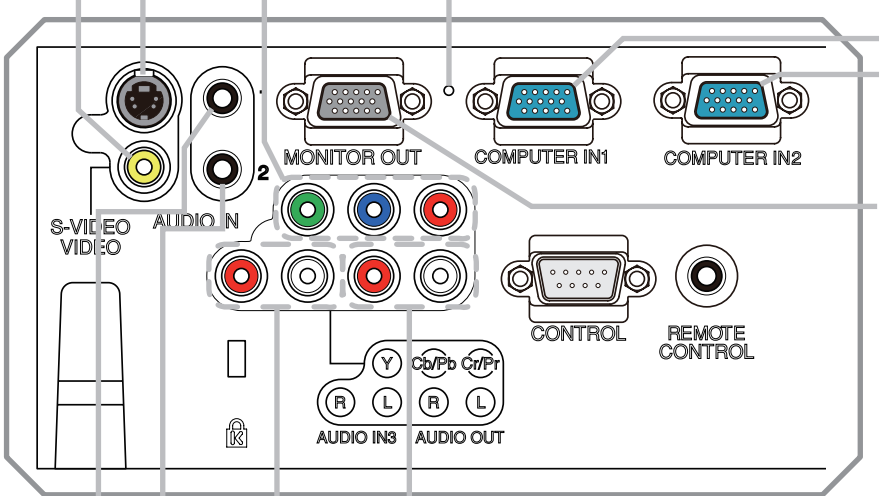
POWER インジケータ (📖18, 20, 23, 29)
本機のパワーの状態をお知らせします。

TEMP インジケータ (📖29)
本機内部の温度状態についてお知らせします。

接続パネル

VIDEO 端子
S-VIDEO 端子
COMPONENT (Y, Cb/Pb, Cr/Pr) 端子
DVD/ ビデオプレイヤーなどからの映像信号の入力端子です。

シャットダウンスイッチ (📖23) 本機を強制終了するためのスイッチです。



COMPUTER IN1 端子
COMPUTER IN2 端子
パソコンからの映像信号の入力端子です。

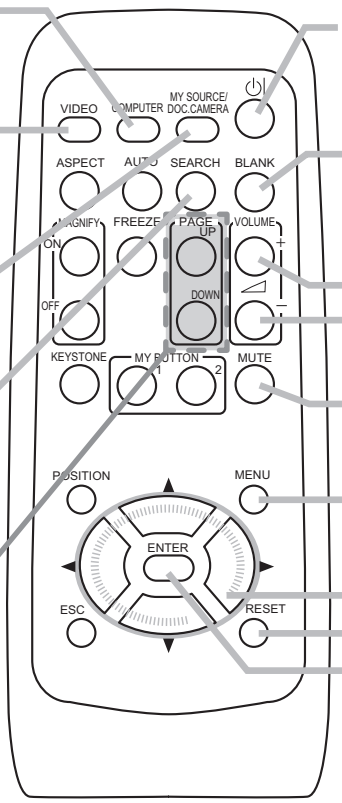
MONITOR OUT 端子
映像信号の出力端子です。

AUDIO OUT (R, L) 端子 音声信号の出力端子です。

AUDIO IN3 (R, L) 端子
AUDIO IN2 端子
AUDIO IN1 端子
音声信号の入力端子です。

■リモコン

前面



COMPUTER ボタン (📖21)
COMPUTER IN1/2 端子からの映像信号を選択します。

VIDEO ボタン (📖21)
VIDEO 端子、S-VIDEO 端子、COMPONENT(Y, Cb/Pb, Cr/Pr) 端子からの映像信号を選択します。

MY SOURCE/ DOC.CAMERA ボタン (📖21)
このボタンに登録した端子からの映像信号を選択します。

SEARCH ボタン (📖21)
本機に入力されている映像信号を検索します。

このボタンは使用できません。押された場合には、画面にメッセージ (📖28) が表示されます。

STANDBY/ON ボタン (📖20, 23)
本機のパワーオン／オフ (スタンバイ) を切り替えます。

BLANK ボタン
ブランク画面の表示／非表示を切り替えます。

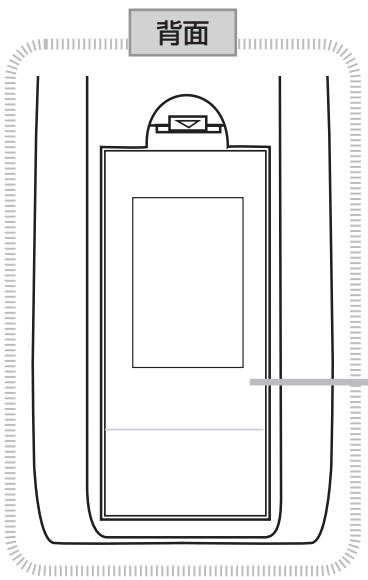
VOLUME ＋ ボタン
VOLUME − ボタン (📖22)
音量を調節します。

MUTE ボタン (📖22)
音声をオン／オフします。

MENU ボタン (📖22)
メニュー画面を表示します。

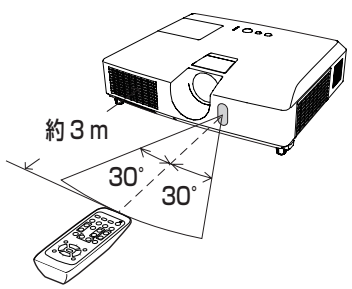
カーソル（▲/▼/◀/►）ボタン
RESET ボタン
ENTER ボタン (📖22)
本機のメニュー機能などに使用します。

背面



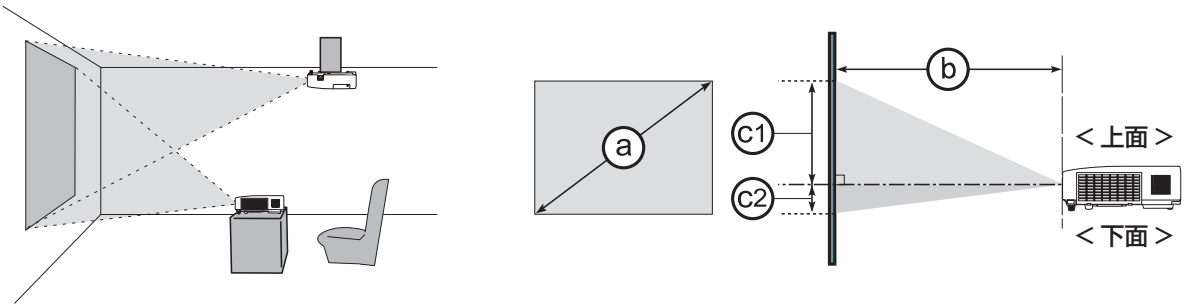
電池カバー
内側に電池ケースがあります。
電池の取り扱いには注意してください。

リモコン信号について
付属のリモコンは、本機のリモコン受光部 (📖12) へ信号を送って機能します。リモコン信号は、受光部への入射角度左右に各 30˚、距離約 3 mの範囲で有効です。
リモコン信号は、スクリーンなどに反射させて操作できる場合もあります。（反射面によっては反射できない場合もあります。）



本機を設置する

⇒ 本機を設置する前に、必ず「使用上のご注意」(📖5, 8) を確認し、設置方法と位置を決めてください。



本機とスクリーンの距離については下表をご参照ください。
下表の数値はフルスクリーン (1024 × 768) の場合の参考値 (± 10%) です。

ⓐ スクリーンサイズ（対角寸法）		4：3 画面				16：9 画面			
		ⓑ 投写距離		スクリーン高さ		ⓑ 投写距離		スクリーン高さ	
型（インチ）	m	最小	最大	ⓒ1	ⓒ2	最小	最大	ⓒ1	ⓒ2
30	0.8m	0.9m	1.0m	41cm	5cm	1.0m	1.1m	39cm	-1cm
40	1.0m	1.2m	1.4m	55cm	6cm	1.3m	1.5m	51cm	-2cm
50	1.3m	1.5m	1.8m	69cm	8cm	1.6m	1.9m	64cm	-2cm
60	1.5m	1.8m	2.1m	82cm	9cm	1.9m	2.3m	77cm	-2cm
70	1.8m	2.1m	2.5m	96cm	11cm	2.3m	2.7m	90cm	-3cm
80	2.0m	2.4m	2.8m	110cm	12cm	2.6m	3.1m	103cm	-3cm
90	2.3m	2.7m	3.2m	123cm	14cm	2.9m	3.5m	116cm	-4cm
100	2.5m	3.0m	3.6m	137cm	15cm	3.3m	3.9m	129cm	-4cm
120	3.0m	3.6m	4.3m	165cm	18cm	3.9m	4.7m	154cm	-5cm
150	3.8m	4.5m	5.3m	206cm	23cm	4.9m	5.8m	193cm	-6cm
200	5.1m	6.0m	7.1m	274cm	30cm	6.6m	7.8m	257cm	-8cm
250	6.4m	7.5m	8.9m	343cm	38cm	8.2m	9.7m	322cm	-10cm
300	7.6m	9.0m	10.7m	411cm	46cm	9.9m	11.7m	386cm	-12cm

お守りください

●キャスター（車）付きの台に載せる場合は、必ずキャスター止めをしてください。
●本機と壁などとのスペースを 30cm 以上とってください。
●本機とスクリーンとの間に障害物がないことをよく確認してください。
●設置器具は指定品をご使用になり、天吊り（天井設置）などの特殊な設置は、必ず事前に販売店にご相談ください。
●セキュリティ・スロット／バーを落下防止用に使用する場合は、販売店にご相談ください。
●光源や直射日光などの強い光、また、電波を発生するものを避けて設置してください。

お知らせ

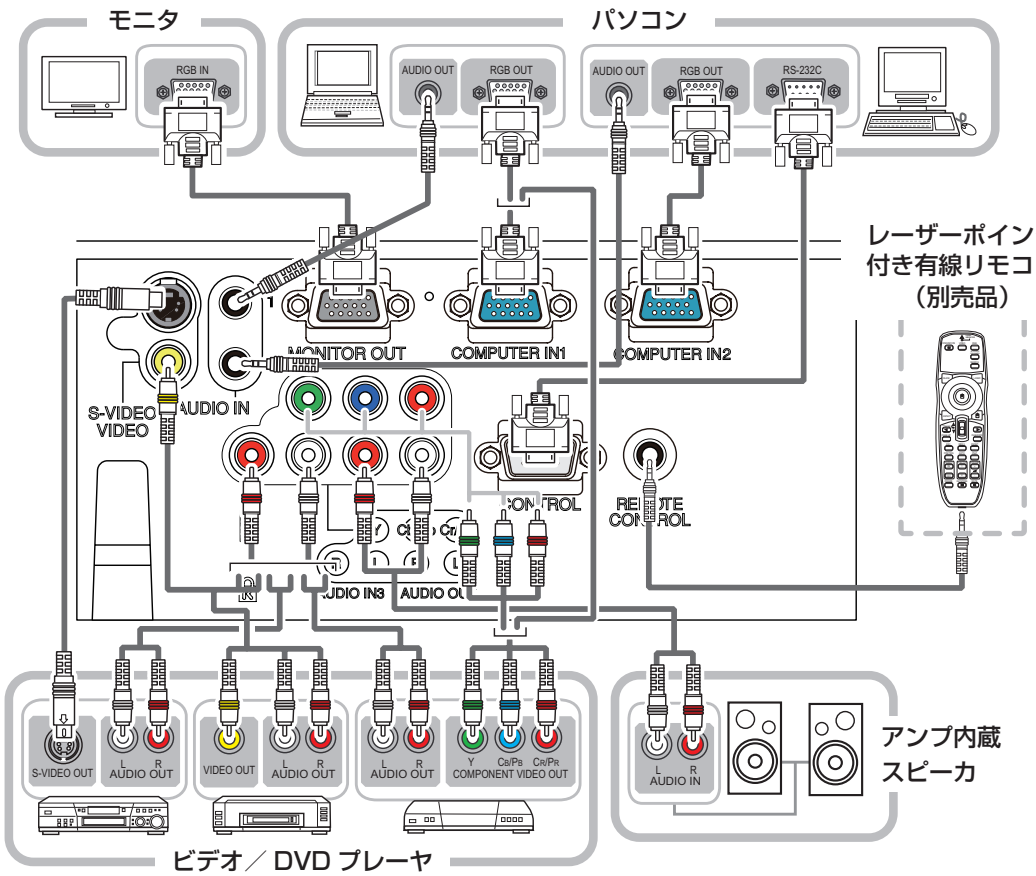
●リモコン受光部に蛍光灯などの不要な光が入ると、リモコンが正常に動作しないことがあります。この場合には本機の位置を調節してください。

他の機器と接続する

⇒ 他の機器と接続する前に、「使用上のご注意」(📖5, 6, 8) をご確認ください。

接続の前に、本機と接続してご使用になる機器の説明書をよくお読みください。解像度などの仕様が本機に合うことを確認し、必要な信号ケーブルやアダプタを準備してください。本機の端子形状は「入出力信号端子について」(📖 ***詳細版***) をご覧ください。

本機および接続する機器の電源が切れていることを確認し、以下の図をご参考に接続してください。



お守りください

- ●接続はコネクタの形状や向きを確かめながら、正しく行ってください。固定ネジがあるものはネジをきちんと締めて固定してください。
- ●本機の各接続端子は凹んでいるため、ストレート型プラグのケーブルを使用してください。L 型のケーブルは使用しないでください。

お知らせ

- ●本機は VESA DDC 2B に対応しています。本機の COMPUTER IN1 端子を、VESA DDC（Display Data Channel）対応のパソコンに接続してご使用になると、プラグ & プレイを実現できます。ただし、接続するパソコンによってはプラグ&プレイが動作しない場合があります。
- ●ノートパソコンや、ディスプレイ一体型パソコンなどからの映像信号を本機に入力するには、RGB 外部映像出力を有効（LCD と CRT 同時表示、または CRT の設定）にしてください。詳しくはご使用になるパソコンの説明書をご覧ください。
- ●有線リモコン（別売品）を本機に接続するには、φ 3.5mm ステレオミニプラグ付きケーブルをご使用ください。ただし、レーザーポインタを使用するときは、本機との接続ケーブルをはずしてください。

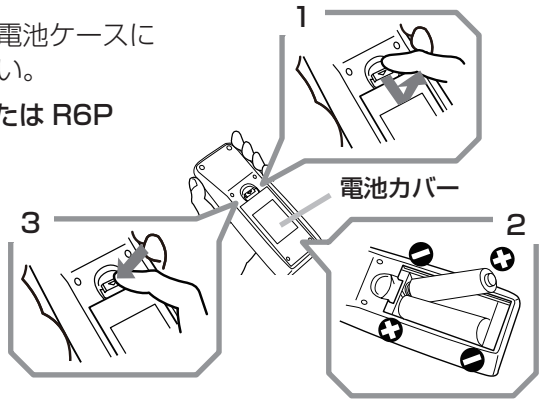
リモコンに電池を入れる

付属のリモコンには、単三型乾電池 2 個を使用します。
ご使用の前に付属の、または市販の乾電池をリモコンの電池ケースに入れてください。電池は必ず下記のものをご使用ください。

付属リモコン用電池：日立マクセル製、型名 LR6 または R6P

1. 電池カバーのつまみを軽く手前に引きながら電池カバーを外してください。
2. リモコンの中に表示された極性表示（⊕、⊖）を確認し、電池の向きを合わせて入れてください。
3. 電池カバーをもとのように閉じてください。

電池は注意して取り扱ってください。



⚠警告

●電池の取扱いに注意する

取扱いを誤ると、破裂や発火、液漏れなどして、火災やけが、人体への傷害、周囲の汚染の原因となります。また電池は小さいので、お子様やペットが飲み込むおそれがあります。

万一、電池を飲み込んだ場合はすぐに医師にご相談ください。
液漏れしたときは、すぐに乾いた布などで漏れ液をふきとって、新しい電池を入れてください。漏れ液が皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。目などに入った場合は、すぐにきれいな水で洗い流し、医師にご相談ください。

破裂注意

- ▶電池は、必ず指定のタイプ（上記）の新しい電池を使用してください。損傷のある電池は使用しないでください。種類や銘柄の異なる電池を一緒に使用したり、古い（使用した）電池と新しい電池を一緒に使用しないでください。
- ▶電池ケースの極性表示に従って正しく入れてください。
- ▶リモコンを長時間使用しない場合は、リモコンから電池を取り出して保管してください。
- ▶火や水に入れないでください。火気、高温、湿気を避け、暗く涼しく乾燥したところに保管してください。
- ▶子供やペットの手足が届かないところに保管してください。
- ▶衝撃をあたえないでください。投げたり落としたりしないでください。
- ▶充電、短絡、分解、加工、はんだ付けなどしないでください。電池の電極部に金属を接触させないでください。ピンセットなどの金属製の物で持たないでください。
- ▶廃棄するときは、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従ってください。

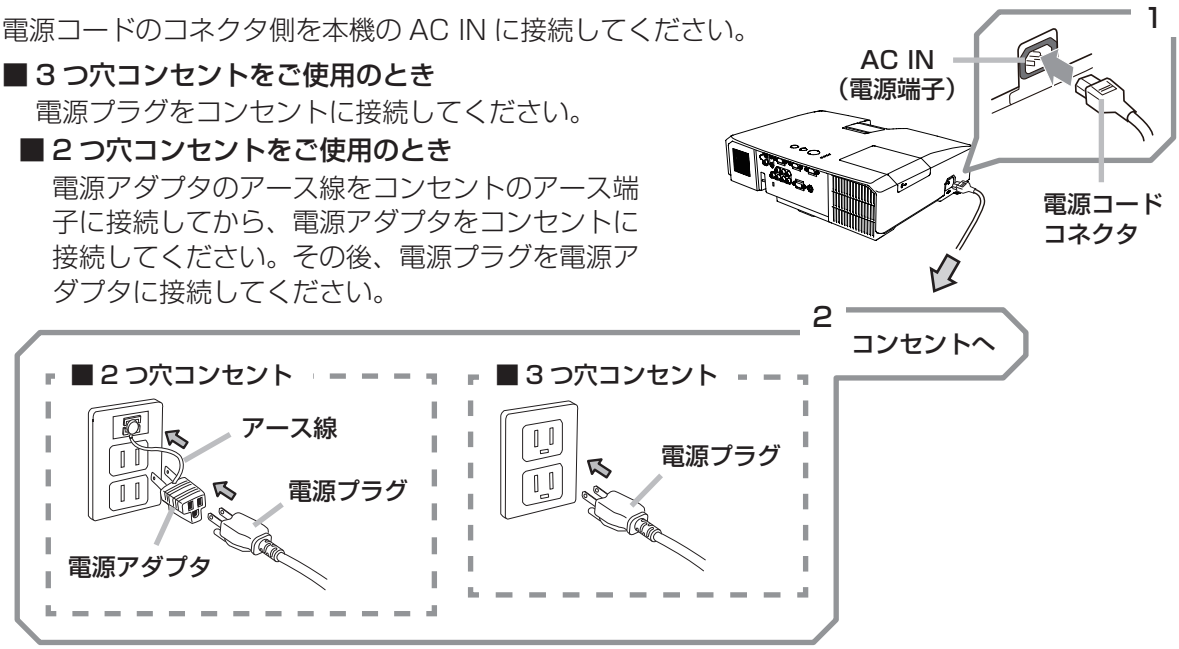
お守りください

- ●リモコンに衝撃をあたえないでください。リモコンを投げたり落としたり、上に乗ったり重い物を載せたりしないでください。
- ●リモコンに水を掛けたり、リモコンをぬらしたり、ぬれるところに置いたりしないでください。
- ●リモコンと本機のリモコン受光部の間に物を置かないでください。リモコンは赤外線で本機に信号を送っています。（クラス 1LED 製品）リモコンと本機の受光部の間に障害物があると、リモコンが利かないことがあります。

電源に接続する

⇒ 本機を電源に接続する前に、必ず「使用上のご注意」(📖5, 6, 8) をご確認ください。

1. 電源コードのコネクタ側を本機の AC IN に接続してください。
2. ■ 3 つ穴コンセントをご使用のとき
   電源プラグをコンセントに接続してください。
   ■ 2 つ穴コンセントをご使用のとき
   電源アダプタのアース線をコンセントのアース端子に接続してから、電源アダプタをコンセントに接続してください。その後、電源プラグを電源アダプタに接続してください。



電源が接続されると、本機はスタンバイ状態となり、操作パネルの POWER インジケータが橙色に点灯します。

お守りください

- ●ゆるみやがたつきのあるコンセントは使用しないでください。
- ● 2 つ穴コンセントを使用する場合は、付属の電源アダプタをご使用になり、必ずアース線を接続してください。
- ●アース線は、電源アダプタをコンセントに差し込む前に接続してください。アース線を外すときは、先に電源アダプタをコンセントから抜いてください。
- ●接続している他の機器（パソコンやビデオなど）のトラブルを防ぐため、他の機器の電源が切れている状態で本機を電源に接続してください。

お知らせ

- ●「ダイレクトオン」を「有効」に設定していると、電源に接続したとき、自動的に本機の電源が入ることがあります（📖 ***詳細版***）。

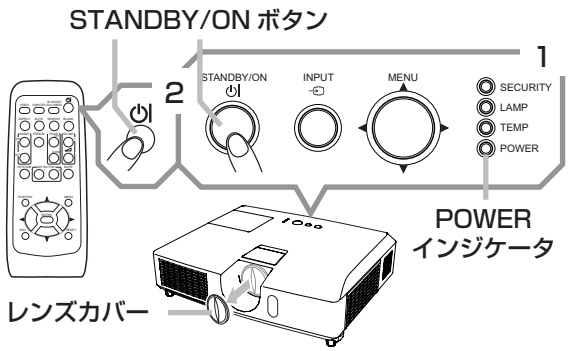
電源を入れる

⇒ 本機の電源を入れる前に、必ず「使用上のご注意」(📖5, 6, 8) をご確認ください。

1. 電源コードが正しく接続され、操作パネルの POWER インジケータが橙色に点灯していることを確認してください。
   レンズカバーをはずしてください。
2. リモコンまたは操作パネルの STANDBY/ON ボタンを押してください。

ランプが点灯すると、スタートアップ画面が表示され、POWER インジケータは緑色に点灯します。

絶対にレンズや投射光をのぞかないでください。



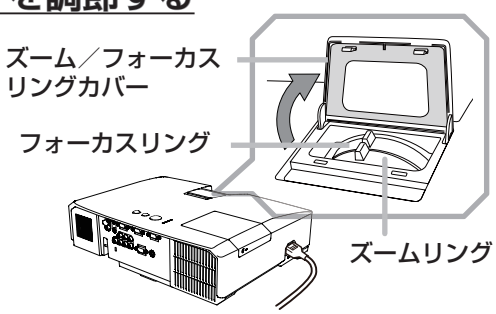
お守りください

●接続している他の機器（パソコンやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。

ズーム（表示倍率）とフォーカス（焦点）を調節する

ズーム／フォーカスリングカバーを開き、
投射画面を見ながら、ズームリングで画面の大きさを調節し、フォーカスリングで映像の焦点を合わせてください。

絶対にレンズや投射光をのぞかないでください。



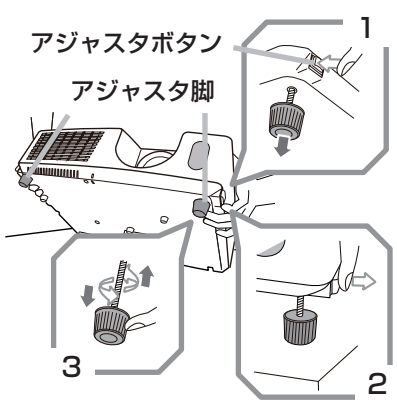
傾きを調節する

⇒ 必ず「使用上のご注意」(📖5) をご確認ください。

アジャスタ脚の固定がはずれると本機が落ちることがありますので、本機をきちんと支えながらアジャスタボタン、アジャスタ脚を操作してください。

1. 後部を設置面につけたまま、本機を背面から両手で支え、アジャスタボタンを押してください。同じ側面にあるアジャスタ脚の固定がはずれて、脚の長さが変えられます。
   アジャスタ脚とアジャスタボタンは、左右二組あります。
2. アジャスタボタンを押したまま本機の位置（角度）を決め、アジャスタボタンを放してアジャスタ脚を固定してください。
3. アジャスタ脚をネジのように回すと、アジャスタ脚を固定したまま長さを微調節できます。必要に応じてご利用ください。

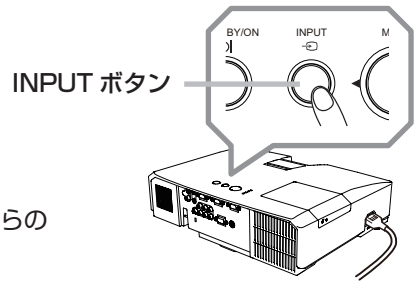
本機のアジャスタ脚では、設置面に対し、前上がりに最大 12° まで傾けることができます。

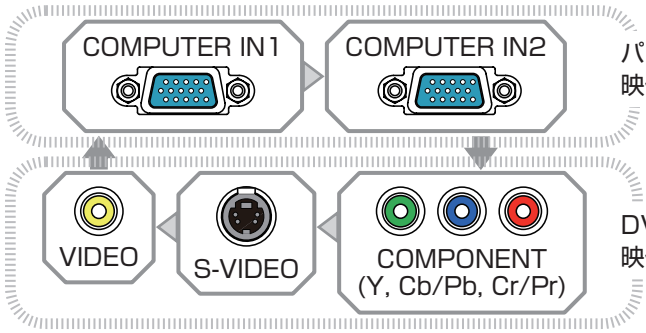


映像信号を選ぶ

■操作パネルの INPUT ボタンを押す

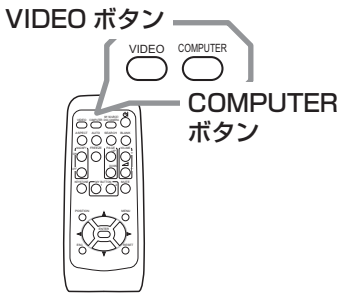
全ての映像信号の入力端子を、順繰りに切り替えることができます。選択されていた端子を起点に、以下の順序で切り替わります。





■リモコンの COMPUTER ボタン、VIDEO ボタンを押す

映像信号の入力端子を、信号の種類別に切り替えることができます。COMPUTER ボタンを押すと、パソコンからの映像信号の入力端子（COMPUTER IN1、COMPUTER IN2）を、VIDEO ボタンを押すと、ビデオ／ DVD プレーヤなどからの映像信号の入力端子（COMPONENT、S-VIDEO、VIDEO）を選択することができます。

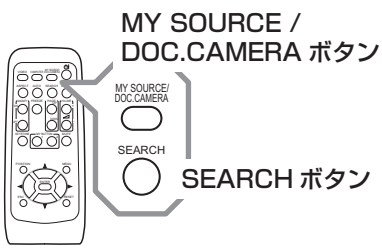


リモコンの MY SOURCE / DOC.CAMERA ボタンを使う

このボタンに登録（📖 ***詳細版***）しておいた、ドキュメントカメラなどからの映像信号に、切り替えることができます。

リモコンの SEARCH ボタンを使う

本機に入力されている映像信号を検索することができます。入力信号が見つからない場合は、SEARCH ボタンを押したときの状態に戻って終了します。



お知らせ

●ノートパソコンや、ディスプレイ一体型パソコンなどからの映像信号を本機に入力するには、RGB 外部映像出力を有効（LCD と CRT 同時表示、または CRT の設定）にしてください。

例）[Fn] キー ＋ [F7] 又は [F8]　　など

詳しくはご使用になるパソコンの説明書をご覧ください。

●「オートサーチ」が「有効」（📖 ***詳細版***）に設定されていると、いずれかのボタンで映像信号を切り替えると、正常な入力信号を検出するまで各端子を自動的に検索します。

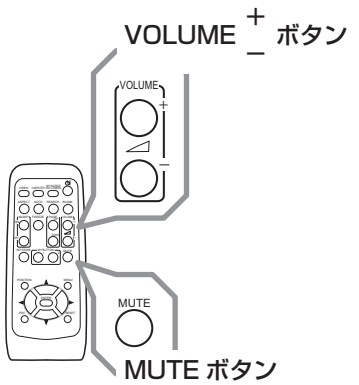
●パソコンの表示モードや、信号の種類（信号方式、解像度、周波数など）によっては、映像を表示できないことがあります。

●パソコン上で解像度を切り替えるとき、通常より時間が掛かったりすると、解像度切替えの画面表示が確認できず、もとの解像度に戻ってしまうことがあります。このような場合は、別の表示装置を使って解像度を切り替えてください。

●本機は UXGA(1600 × 1200) 信号まで表示できますが、映像品質は、入力信号と本機のパネルの解像度 (1024 × 768) が同じときに最良です。

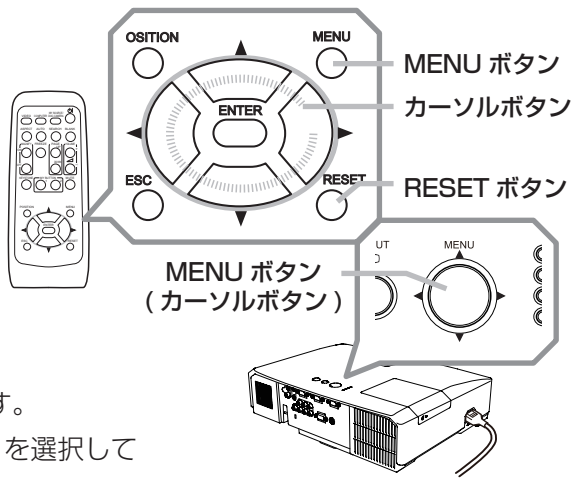
音声を調節する

音量を大きく、又は小さくするには、リモコンの VOLUME ＋／－ボタンを押してください。音量調節のためのガイドが表示されます。ガイドが表示されている間、VOLUME ＋ / －ボタンで音量を調節できます。なにも操作を行わないと、数秒後に自動的にガイドが消えて音量の調節が終了します。
音声を消したいときにはリモコンの MUTE ボタンを押してください。ダイアログが表示され、音声が消えます。もう一度 MUTE ボタンを押すか、VOLUME ＋ / －ボタンのいずれかを押すと、音声は復帰します。なにも操作が行われないと、ダイアログが数秒後に自動的に消えます。



簡単メニューを操作する

1. リモコンまたは操作パネルの MENU ボタンを押してください。
   メニュー画面が表示されます。
2. 「簡単メニュー」では、画面の調節を行うことができます。
   メニュー画面が表示されている間は、カーソルボタン▲ / ▼で操作したい項目を選択（選択されている項目は黄色く反転表示されます）、カーソルボタン◀ / ▶で選択した項目を設定、調節、および実行することができます。
3. 操作を終えてメニュー画面を閉じるには、「終了」を選択してカーソルボタン◀を押してください。



メニュー項目の内容については、「取扱説明書 - 詳細版 -」をご参照ください。

お知らせ

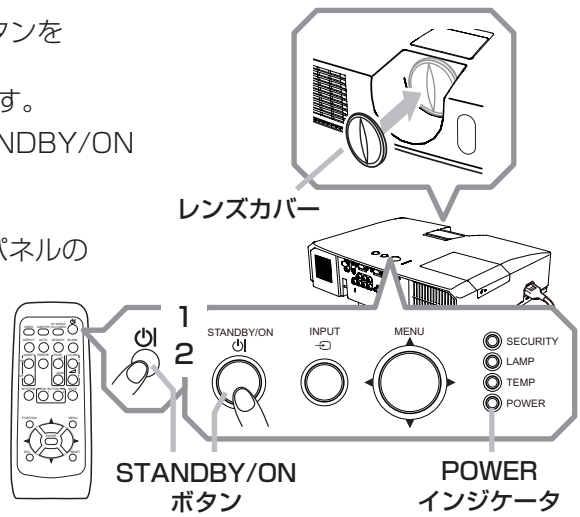
● MENU ボタンを押すと、「簡単メニュー」または「詳細メニュー」のどちらか、前回ご使用になっていたほうのメニューが表示されます。電源を入れた後は必ず「簡単メニュー」が表示されます。「詳細メニュー」が表示されてしまった場合は、カーソルボタン▲ / ▼で「簡単メニュー」を選択し、カーソルボタン▶を押してください。また、「簡単メニュー」から「詳細メニュー」に移りたい場合は、カーソルボタン▲ / ▼で「簡単メニュー」を選択し、カーソルボタン▶を押してください。
●操作の途中でリモコンの RESET ボタンを押すと、選択中の項目を初期設定にもどすことができます。ただし、「表示言語」や「フィルタータイマー」などの項目は初期化されません。
●メニュー画面が表示されているときに数秒間なにも操作を行わないか、もう一度 MENU ボタンを押すと、メニュー画面が閉じます。

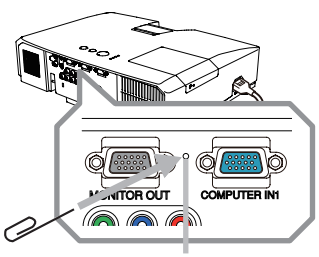
電源を切る

⇒「使用上のご注意」(📖5, 6, 8) をご確認ください。

1. リモコンまたは操作パネルの STANDBY/ON ボタンを押してください。
「電源を切りますか？」のメッセージが表示されます。
2. メッセージが表示されている間に、もう一度 STANDBY/ON ボタンを押してください。
絶対にレンズや投射光をのぞかないでください。
ランプが消灯し、本機は冷却動作を開始して操作パネルの POWER インジケータが橙色に点滅し始めます。

ランプの冷却が終わると本機はスタンバイ状態となり、POWER インジケータは点滅をやめて橙色に点灯します。
レンズカバーを取り付けてください。
本機の電源を完全に切るためには、電源プラグをコンセントから抜いてください。





シャットダウンスイッチ

正常な操作で電源を切ることができない場合
（シャットダウンスイッチを使う）
シャットダウンスイッチを押すと本機の動作を終了し、ランプを消灯することができます。
シャットダウンスイッチは、細い棒状のものを差し込んで押してください。シャットダウンスイッチを押した後は、電源プラグを抜き、本機を十分に冷ましてください。

お守りください

- ●接続している他の機器（パソコンやビデオなど）のトラブルを防ぐため、特に指定のない場合、本機の電源の操作は、他の機器の電源が切れている状態で行ってください。
- ●電源は正しい手順で切ってください。決められた手順（📖23）をふまずに電源プラグを抜いたりすると、冷却が正常に行われず、本機の寿命を縮めたり、ランプがつきにくくなることがあります。
- ●電源を切った後 10 分以上は、電源を入れないでください。本機の温度が十分に下がっていない状態で電源を頻繁に入れたり切ったりすると、ランプの寿命を縮めることがあります。
- ●シャットダウンスイッチは、正しい手順で電源を切れない場合にだけご使用ください。
- ●停電やシャットダウンスイッチの使用などによって、正しい手順をふまずに電源を切った（切れた）場合は、電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。
- ●アース線を外すときは、先に電源アダプタをコンセントから抜いてください。

お知らせ

●「オートオフ」を「有効」に設定している場合、電源を切る操作を行わなくても自動的に本機の電源が切れることがあります（📖 ***詳細版***）。

ランプを交換する

■ランプについてのご注意

⚠警告

感電注意

高温注意

破裂注意

本機のランプは、ガラス製で内部圧力の高い水銀ランプです

このランプは、衝撃や傷、高温状態での取扱い、使用時間の経過による劣化などで、大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になって寿命を終える特性があります。寿命の長さはランプによって大きな差があり、使用後まもなく破裂したり不点灯になったりすることもあります。

ランプが破裂すると、本機の内部にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部の水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが本機の通風口から出たりすることがあります。ご使用のまえに、本書および本機の注意ラベルをよくお読みになり、取扱いには十分ご注意ください。

電源プラグをコンセントから抜け

●ランプが破裂したら、使用を中止して電源プラグを抜き、販売店に連絡する

飛び散ったガラス片によってけがや本機の内部を傷つける原因となることがあります。

▶ランプが破裂した、または破裂したおそれのある場合は、必ず電源を切って電源プラグを抜き、ランプカバーを開けずに販売店へご連絡ください。

▶ランプの破裂によって水銀を含むガスや、微細なガラスを含む粉じんが排出されることがあります。排気を十分にして、目や鼻、口から入らないようにご注意ください。**万一、入った場合は、すぐに医師の診察を受けてください。**

●ランプの交換は、電源プラグを抜き、十分冷ましてから行う

電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因となります。また、高温状態でランプを取り扱うと、やけどやランプが破裂する原因となります。

▶ランプの交換は、初めに本機の電源を切り、電源プラグを抜いて放置し、ランプや本機内部を十分冷ましてください。

●天井設置や高所設置では、ランプの交換は販売店にご依頼ください。

万一、ランプが破裂していると、破片が落下して危険です。また高所での作業には転落などの危険が伴います。

▶ランプが破裂していない場合でも、ランプの交換は必ず販売店にご依頼ください。ランプカバーは開けないでください。

●ランプは指定品を使用する

本機の仕様に合わないランプを使用すると、故障の原因となったり、本機の寿命を縮める原因となることがあります。

●ランプやランプカバーは正しく取り付けて使用する。

正しく取り付けてられていなかったりネジがゆるんでいたりすると、ランプカバーやランプが外れて、けがや故障の原因となることがあります。

▶ランプを交換した後は、固定用のネジがしっかり締められ、ランプカバーがきちんと閉じられていることを確認してください。

●ランプは取扱いに注意し、正しく使用してください。

ランプは衝撃を加えたり傷つけたり、寿命を超えてご使用になったりすると、破裂したり、不点灯となることがあります。ランプは丁寧に取り扱ってください。

▶古いランプ（中古品）は破裂し易いのでご使用にならないでください。

▶映像が暗くなったり、色あいが悪くなったりしたら、お早めに交換してください。

●使用済みのランプは正しく廃棄してください。

本機は水銀ランプを使用しています。廃棄は、廃棄を行う地域の規則（条例など）に従って正しく行ってください。

■ランプの交換方法

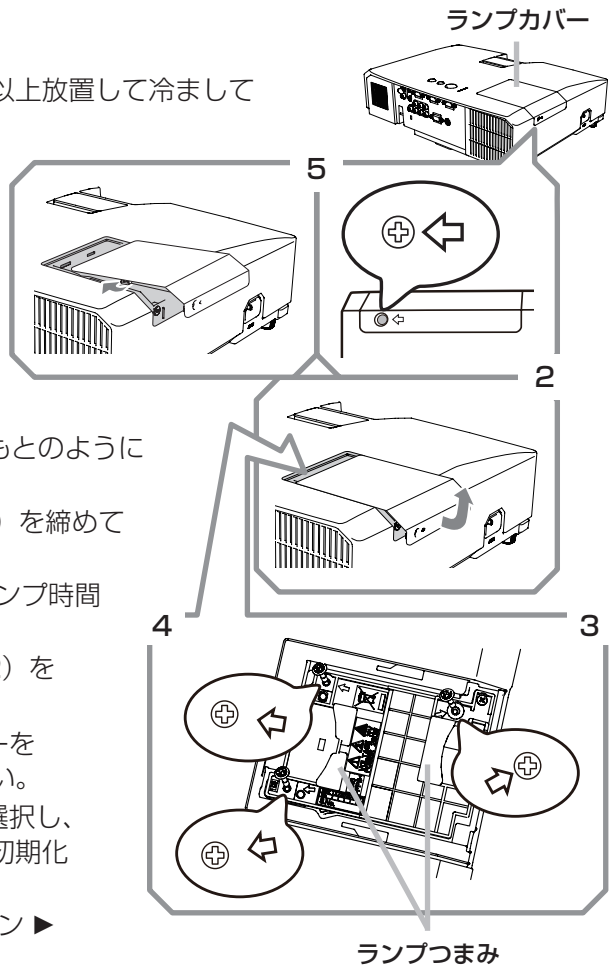
ランプは使用時間の経過にともない、徐々に映像が暗くなったり、色合いが悪くなったりすることがあります。また、ランプの寿命にはばらつきがあり、ご使用開始から比較的短時間で破裂したり、不点灯となったりすることがあります。あらかじめ交換用のランプをご用意いただき、お早めに交換いただくことをお勧めします。
交換用のランプは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

型名：CP-X4020J 001 (DT01051)

次のような場合は、ランプユニットの交換を必ず販売店へご依頼ください。
・ランプが破裂した、あるいは破裂したおそれがある場合
・プロジェクター本体が天井 (天吊り) や高所に設置されている場合

交換手順（ご自分でランプを交換する場合）

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、45 分以上放置して冷ましてください。
2. 右図を参考に、ランプカバーのネジ（⇦）を緩め、ランプカバーを外してください。
3. ランプを固定している 3 つのネジ（⇦, ⇦, ⇦）を緩め、ランプつまみを持って、ランプをまっすぐに引き上げて取り出してください。
4. 用意した新しいランプの型名が、上記の型名と一致することをご確認のうえ、前のランプと同じように入れ、3 つのネジ（⇦, ⇦, ⇦）をもとのように締めて固定してください。
5. ランプカバーを閉じて、もとのようにネジ（⇦）を締めて固定してください。
6. 以下の手順に従い、本機のメニューを使ってランプ時間を初期化してください。
   (1) 本機の電源を入れ、「詳細メニュー」（📖22）を表示させてください。
   (2) カーソルボタン▼ / ▲で「その他」メニューを選択し、カーソルボタン ▶ を押してください。
   (3) カーソルボタン▼ / ▲で「ランプ時間」を選択し、カーソルボタン ▶ を押すと、ランプ時間を初期化するダイアログが現れます。
   (4) ダイアログの「OK」を選んでカーソルボタン ▶ を押すと、ランプ時間が初期化されます。



お守りください

●ランプを取り出したり取り付けたりする際、本機の内部に触れないでください。故障、映像不良の原因となることがあります。
●ランプ時間の初期化は正しく行ってください。ランプユニットを交換したら必ずランプ時間を初期化してください。ランプを交換せずにランプ時間を初期化しないでください。ランプ時間は、初期または前回ランプ時間を初期化した時から現在までの本機の稼働時間を 1 時間単位で表示します。ランプ時間の初期化を正しく行わないと実際のランプの使用時間とランプ時間の値が一致しません。

エアーフィルターを掃除／交換する

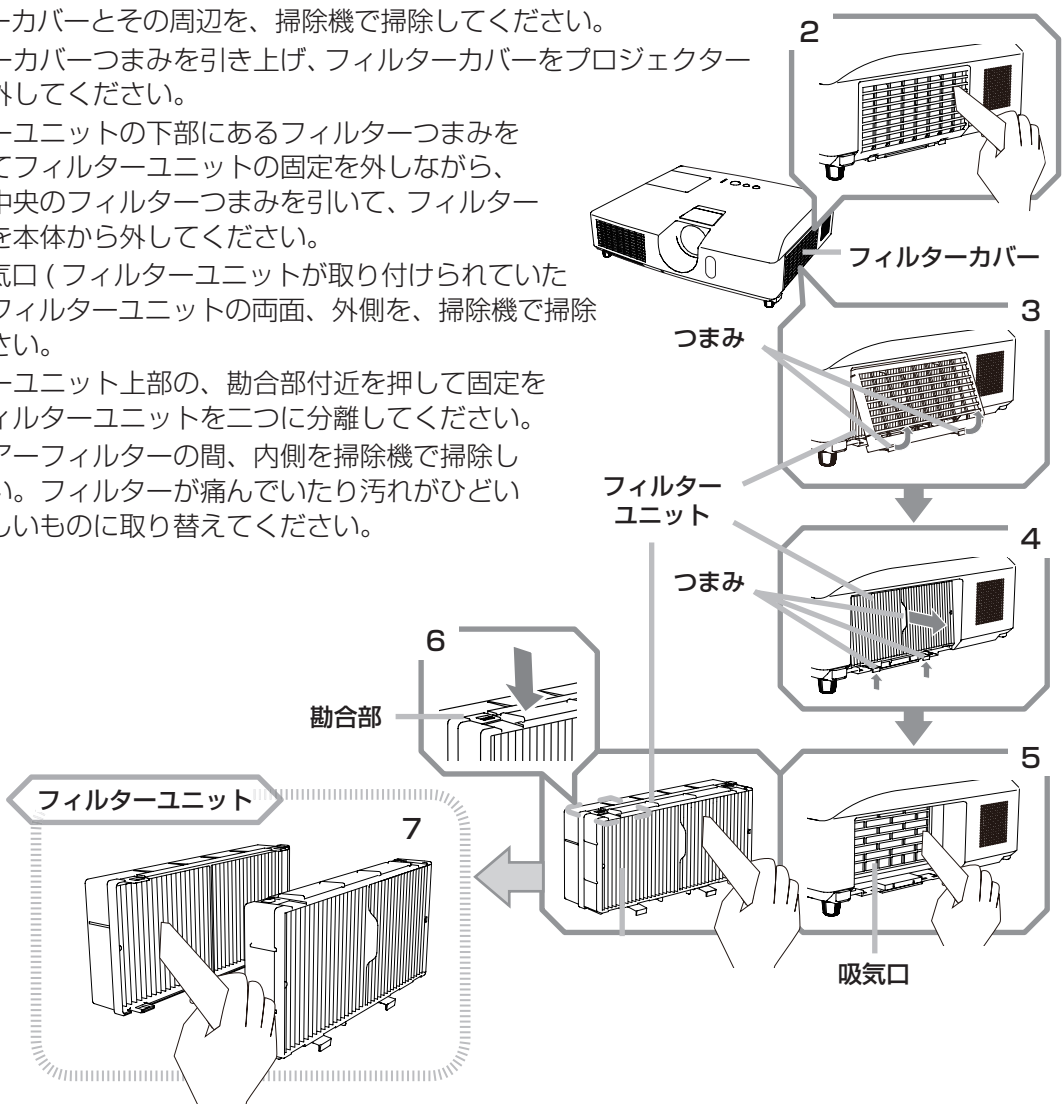
本機のフィルターユニットは、エアーフィルターと、フィルターカバーから構成されています。エアーフィルターは二枚構成となっており、頻繁なお手入れの手間を省き、かつ長くご使用いただけますが、本機内部の換気と正常な動作を維持するため、定期的な確認とお手入れをお勧めします。
エアーフィルターが傷んでいたり、汚れがひどくて掃除しきれない場合は、エアーフィルターを取り替えてください。あらかじめ交換用のエアーフィルターをご用意いただくことをお勧めします。交換用のエアーフィルターは、下記の型名を販売店に指定してご購入ください。

型名：CP-X4020J 002 (MU06641)

エアーフィルターの掃除や換気口のチェックをお願いするメッセージが表示された場合や、TEMP インジケータが赤く点灯した場合は、すぐにエアーフィルターの掃除、または交換を行ってください。また、ランプを交換（🕮24, 25）するときは、エアーフィルターも交換してください。各交換用ランプには、各機種用のエアーフィルターが付属されています。

お手入れ手順

1. 本機の電源を切って電源プラグを抜き、放置して十分冷ましてください。
2. フィルターカバーとその周辺を、掃除機で掃除してください。
3. フィルターカバーつまみを引き上げ、フィルターカバーをプロジェクター本体から外してください。
4. フィルターユニットの下部にあるフィルターつまみを押し上げてフィルターユニットの固定を外しながら、ユニット中央のフィルターつまみを引いて、フィルターユニットを本体から外してください。
5. 本機の吸気口 (フィルターユニットが取り付けられていた奥）と、フィルターユニットの両面、外側を、掃除機で掃除してください。
6. フィルターユニット上部の、勘合部付近を押して固定を外し、フィルターユニットを二つに分離してください。
7. 二つのエアーフィルターの間、内側を掃除機で掃除してください。フィルターが痛んでいたり汚れがひどい場合は新しいものに取り替えてください。



（次のページへつづく）

8. エアーフィルターを元のように組み立ててください。
9. フィルターユニット、およびフィルターカバーをもとのように本体に取り付けてください。
10. 本機のメニューを使って、フィルター時間を初期化してください。
    (1) 本機の電源を入れ、「簡単メニュー」（📖22）を表示させてください。
    (2) カーソルボタン▼ / ▲で「フィルター時間」を選択し、カーソルボタン ► を押すと、フィルター時間を初期化するダイアログが表示されます。
    (3) ダイアログの「OK」を選んでカーソルボタン ► を押すと、フィルター時間が初期化されます。

⚠警告

電源プラグをコンセントから抜け

●フィルターユニットを交換する前に、電源プラグを抜き、十分冷ます

フィルターユニットを交換する前に、必ず電源を切って電源プラグを抜き、本機内部を十分に冷ましてください。電源プラグを接続したままでお手入れすると、火災や感電の原因になります。また、高温状態での取扱いはやけどの原因となります。

●フィルターユニットは正しく使用し、定期的に交換する

フィルターユニットがほこりや汚れで詰まったり、正しく取り付けられていなかったりすると、内部温度が上がり過ぎて本機の電源が自動的に切れたり、火災、故障の原因となることがあります。

▶フィルターカバーやフィルターユニットを外した状態では使用しないでください。

▶フィルターユニットは必ず指定のフィルターユニットを正しくご使用ください。

お守りください

●フィルター時間の初期化は正しく行ってください。フィルターユニットを交換したら必ずフィルター時間を初期化してください。フィルターユニットを交換せずにフィルター時間を初期化しないでください。フィルター時間は、初期または前回フィルター時間を初期化した時から現在までの本機の稼働時間を 1 時間単位で表示します。フィルター時間の初期化を正しく行わないと実際のフィルターユニットの使用時間とフィルター時間の値が一致しません。

お知らせ

●「フィルター掃除通知」機能 (📖 ***詳細版***) をご使用になると、交換時期をお知らせするメッセージを表示させることもできます。

故障かなと思ったら

ご使用のまえに、必ず「正しくお使いいただくために」（🕮4 ～ 10）をお読みください。
異常が発生した場合は、すぐに電源プラグを抜き、販売店またはお客様ご相談窓口（🕮35）にご相談ください。
その他の問題が起きた場合は、修理を依頼される前に、本章の内容をご確認いただき、必要と思われる処置を行ってください。それでも問題が解決しない場合は、販売店またはお客様ご相談窓口（🕮35）にご相談ください。

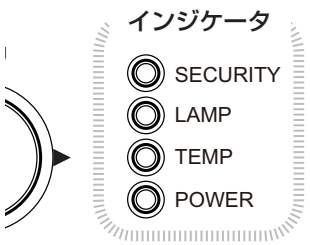
メッセージ表示について

本機の画面には、下表のようなメッセージが表示されることがあります。下表の内容をご確認いただき、必要と思われる処置を行ってください。処置後も同じメッセージが表示されたり、下表に記載されていないメッセージが表示された場合は、販売店またはお客様ご相談窓口（🕮35）にご相談ください。

メッセージ	内　容
信号が入力されていません **＊＊＊**	入力信号が見つかりません。 以下のことをご確認ください。 ・信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？（🕮16,） ・信号源（ビデオ、パソコンなど）は正しく動作していますか？
信号は同期範囲外です **＊＊＊** **fH ＊＊ kHz fV ＊＊ Hz**	入力されている信号の水平または垂直周波数は本機の対応範囲外です。以下のことをご確認ください。 ・入力している信号は本機の仕様（🕮 ***詳細版***）に合ってますか？ ・信号源（DVD、ビデオ、パソコンなど）は正しく動作していますか？
入力信号が不安定です **＊＊＊**	入力信号の水平又は垂直周波数が安定していません。 以下のことをご確認ください。 ・入力している信号は本機の仕様（🕮 ***詳細版***）に合っていますか？ ・信号ケーブルやコネクタは正しく接続されていますか？（🕮16） ・信号源（DVD、ビデオ、パソコンなど）は正しく動作していますか？
吸気口をチェックしてください	内部の温度が上昇している、または急激に変化しています。すぐに本機の電源を抜き、20 分以上冷ましてから、以下のことをご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。 ・吸気口、排気口はふさがっていませんか？（🕮12） ・エアーフィルターは汚れていませんか？（🕮26, 27） ・周囲温度が 35℃を超えていませんか？ ・エアコンなどの風が本機にあたっていませんか？
ご注意 前回のエアーフィルター交換から ＊＊＊ 時間経過しました。 エアーフィルターの交換をお願いします。 エアーフィルター交換後、 フィルター時間をリセットしてください。 詳しくは取扱説明書をご覧ください。	エアーフィルターのお手入れ時期です。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、本機が十分に冷えてから、エアーフィルターを掃除または交換（🕮26, 27）し、もう一度電源を入れてください。
操作できないボタンが入力されました。	無効なボタンが押されました。 使用するボタンを、再度ご確認ください。

インジケータ表示について

POWER、TEMP、LAMP インジケータの点灯や点滅には下表のような意味があります。
いずれかのインジケータが、赤色に点灯、または点滅した場合は、なんらかの問題がある可能性がありますので、下表に従って処置してください。処置後もインジケーターが同様に点灯、点滅したり、下表に記載されていない点灯や点滅が見られた場合は、販売店またはお客様ご相談窓口（🕮35）にご相談ください。



POWER	TEMP	LAMP	内　容
橙色の点灯	消　灯	消　灯	本機はスタンバイ状態です。 この状態で電源を入れる（ランプを点灯させる）（🕮20）、または電源コードを抜く（🕮23）ことができます。
緑色の点滅	消　灯	消　灯	本機はウォームアップ中です。 POWER インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
緑色の点灯	消　灯	消　灯	本機は通常の動作状態です。
	TEMP、LAMP インジケータが同時に*赤色の点滅*		エアーフィルターのお手入れ時期です。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、本機が十分に冷えてからエアーフィルターを掃除または交換（🕮26, 27）してください。
	TEMP、LAMP インジケータが交互に*赤色の点滅*		内部温度が下がりすぎている可能性があります。 本機の電源を切って電源プラグを抜き、周囲の気温をご確認のうえ、もう一度電源を入れなおしてください。
橙色の点滅	消　灯	消　灯	本機は冷却動作中です。 POWER インジケータの点滅が止まるまでお待ちください。
赤色の点滅	ー	ー	不具合が見つかったため、本機は冷却動作中です。 POWER インジケータの点滅が止まるまでお待ちになり、TEMP、LAMP インジケータの状態により、以下に従って処置してください。
赤色の点灯	消　灯	赤色の点灯 または *赤色の点滅*	ランプが点灯しない、または本機内部の温度が上がりすぎているか、ランプ、ランプカバーの取付けが不完全な可能性があります。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、45 分以上待って本機が十分に冷えてから、吸気口や排気口とその周囲、エアーフィルター、周囲温度（35℃以下）、ランプまたはランプカバーの取付け状態をご確認ください。 再度電源を入れたときにインジケータ表示が変わらない場合は、ランプを交換してください。（🕮24, 25）
	赤色の点灯 または *赤色の点滅*	消　灯	本機内部の温度が上がりすぎている、または急激に変化したか、冷却ファンが動作していない可能性があります。 すぐに本機の電源を切って電源プラグを抜き、20 分以上待って本機が十分に冷えてから、本機の周辺に磁気を発生するものがないか、また、吸気口や排気口とその周囲、エアーフィルター、周囲温度（35℃以下）、周囲の環境 (エアコンの風向きなど) をご確認ください。

お知らせ

●本機内部の温度が上がりすぎたときには、安全のため、自動的に本機の電源が切れます。インジケータが全て消灯した場合は、電源プラグを抜いて 45 分以上お待ちください。
● SECURITY インジケータの点灯／点滅については、「取扱説明書 - 詳細版 -」をご参照ください。

故障と間違えやすい現象について

以下のような現象は故障ではない場合があります。
修理をご依頼になるまえに、下表に従ってご確認のうえ、必要に応じて処置してください。
処置後も現象が改善しない場合は販売店またはお客様ご相談窓口（🕮35）にご相談ください。

現　象	確認内容	参考頁
電源が入らない	電源コードは正しく接続されていますか？ 電源コードの接続状態を確認し、正しく接続してください。	🕮18
	停電などで、動作中に電源が切れませんでしたか？ その場合は電源プラグを抜いて 10 分以上待って冷まし、もう一度電源を入れてください。	🕮20
	ランプおよびランプカバーは正しく取付けられていますか？ すぐに電源プラグを抜き、45 分以上待って冷ましてください。本機が十分に冷えてからランプおよびランプカバーの取付け状態をご確認のうえ、もう一度電源を入れてください。	🕮23 🕮24, 25
映像または音声が出ない	信号ケーブルは正しく接続されていますか？ 信号ケーブルの接続状態を確認し、正しく接続してください。	🕮16
	信号が入力されている端子を選んでいますか？ 映像信号を選択しなおしてください。	🕮21
	接続しているパソコンがプラグ＆プレイ･モニターを検知できますか？ 他のプラグ･アンド･プレイ･モニターを使用して、パソコンがプラグ･アンド･プレイ･モニターを検知することができるか確認してください。	🕮16
	ブランク画面になっていませんか？ BLANK ボタンを押して確認してください。	🕮14
	音声を消すか、又は音量を極端に小さくしていませんか？ MUTE ボタンまたは VOLUME ＋ / －ボタンを押し、音声を復帰させるか、音量を調節して大きくしてください。	🕮22
映像が暗い、ぼやける、もやがかかってみえる、映像周辺が明るい	レンズカバーは外れていますか？ レンズカバーを外してください。	－
	「エコ」モードに設定されていませんか？ 「簡単メニュー」の「エコモード」を「ノーマル」にしてください。	🕮22
	フォーカスは調節されていますか？ フォーカスを調節してください。	🕮20
	レンズが汚れたり、くもったりしていませんか？ レンズをお手入れしてください。	🕮 ***詳細版***

お知らせ

●画面中に輝点や黒点がみられることがありますが、これは液晶特有の現象であり、故障ではありません。

●静止画、動きの少ない映像や液晶パネルの仕様と異なる縦横比（16：9 など）の映像を長時間または繰り返し投映すると、液晶パネルが焼きついて残像が残ることがあります。この場合は白画面（白い無地の映像）を 1 時間以上投映し続けるか、または電源を切って数時間放置してください。白画面表示には、ブランク機能（🕮 ***詳細版***）をご利用ください。

※取扱説明書 CD-ROM を使う

本書は、最初に本機をご利用いただくのに便利な、簡易版 取扱説明書です。同梱の取扱説明書 CD-ROM 内には、より詳細な、「取扱説明書 - 詳細版 -」が収録されています。本書に記載されていない複雑な操作やお手入れ方法など、詳しい情報については、そちらをご参照ください。

取扱説明書 CD-ROM を再生するには、以下の環境が必要です。

Windows®:	OS: Microsoft® Windows® 98、Windows® 98SE、Windows NT® 4.0、Windows® Me、Windows® 2000/Windows® XP 以降
	CPU: Pentium® プロセッサ 133MHz 以上
	Memory: 32MB 以上
Macintosh®:	OS: Mac OS® 10.2 以降
	CPU: PowerPC®
	Memory: 32MB 以上
CD ドライブ :	4 倍速以上
グラフィック :	256 色以上、VGA（640 × 480）以上
アプリケーション :	Microsoft® Internet Explorer® 4.0 以降、および Adobe® Acrobat® Reader® 4.0 以降

⇒ 取扱説明書 CD-ROM をご使用の前に、**「使用上のご注意」(📖xx) をご確認ください。**

再生方法

1. CD をパソコンの CD ドライブに挿入してください。
   - ■ Windows® の場合
     しばらくして、ウェブブラウザが自動的に起動し、初期画面が表示されます。
   - ■ Macintosh® の場合
     (1) デスクトップ上の、“Projectors”のアイコンをダブルクリックしてください。
     (2) “main.html”ファイルをクリックすると、ウェブブラウザが起動し、初期画面が表示されます。
2. ご使用の機種名をクリックしてください。「取扱説明書 - 詳細版 -」の画面が開きます。

お知らせ

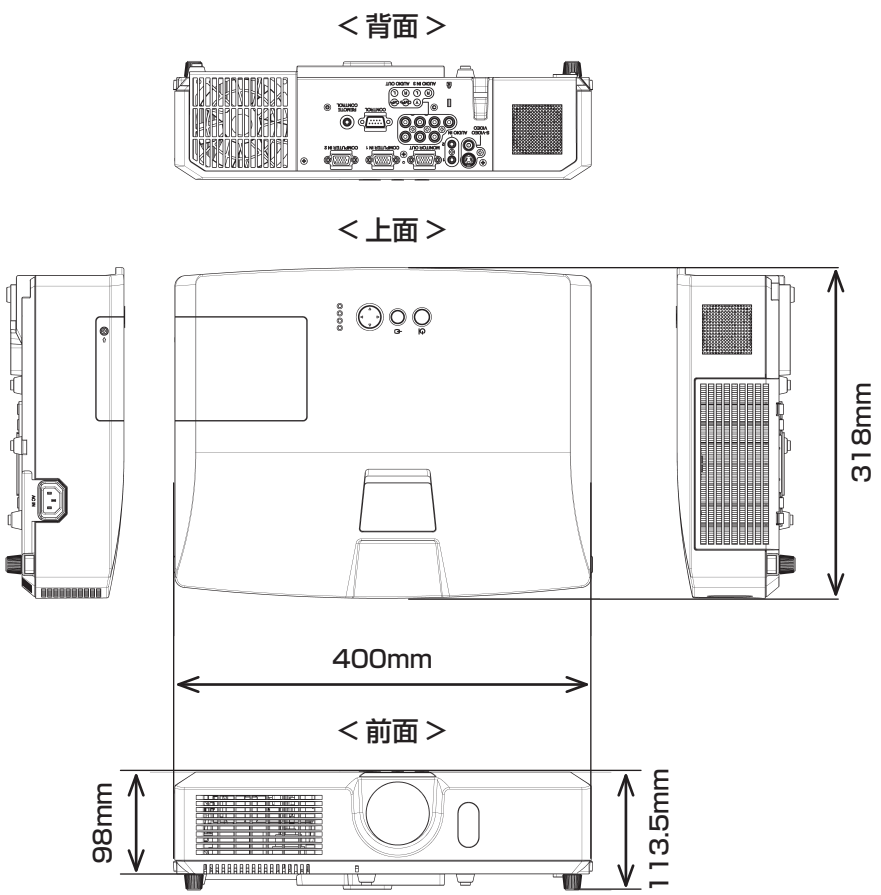
●説明書の内容は、製品の仕様を含め、改良のため予告無く変更することがありますので、ご了承ください。
●説明書の運用結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
●説明書の内容の一部、あるいは全部を無断で複写、転載しないでください。

仕様

項目	仕様 CP-X4020J
形名	CP-X4020
投射方式	透過型液晶パネル 3 板式
表示素子 （液晶パネル）	アスペクト比 4：3
	786,432 画素（1024 × 768）× 3 枚
投射レンズ	手動ズーム、手動フォーカス
光源	高圧水銀ランプ (UHB) 260W
スピーカ	8W × 2（モノラル）
端子	**コンピュータ信号入力** COMPUTER IN1. . . . . D サブ 15 ピンミニ× 1 COMPUTER IN2. . . . . D サブ 15 ピンミニ× 1 **コンピュータ信号出力** MONITOR OUT . . . . . D サブ 15 ピンミニ× 1 **ビデオ信号入力** Y, Cb/Pb, Cr/Pr (COMPONENT) . . . . . RCA × 3 S-VIDEO . . . . . ミニ DIN4 ピン× 1 VIDEO . . . . . RCA × 1 **音声信号入力** AUDIO IN1 . . . . . ステレオミニ× 1 AUDIO IN2 . . . . . ステレオミニ× 1 AUDIO IN3 . . . . . RCA × 2 **音声信号出力** AUDIO OUT. . . . . RCA × 2 **その他** CONTROL . . . . . D サブ 9 ピン× 1 REMOTE CONTROL . . . . . ステレオミニ× 1

項目	仕様
形名	CP-X4020J
使用温度範囲	5 ～ 35℃
電源	AC100V, 50/60Hz ／ 4.6A
消費電力	390W
標準外形寸法	W 400mm × H 113.5mm × D 318mm（下図ご参照）
質量	4.2kg
別売品	**交換用ランプ**：CP-X4020J 001 (**DT01051**) **交換用エアーフィルター**：CP-X4020J 002 (MU06641)
	天吊り用ブラケット：HAS-3010 **高天井用パイプ金具**：HAS-304H **低天井用金具**：HAS-204L **有線リモコン**：RC-R008 ※その他については販売店にご相談ください。

外形寸法



保証とアフターサービスについて（必ずお読みください）

■修理を依頼されるときは（出張修理）

「故障かなと思ったら」に従って調べていただき、なお異常のあるときは、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。

保証書

保証書は、必ず「お買い上げ日･販売店名」などの記入をお確かめください。内容をよくお読みの後大切に保管してください。
保証期間については保証書をご覧ください。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または「お客様ご相談窓口」にお問い合わせください。

補修用性能部品保有期間

補修用性能部品の保有期間は、製造打切り後６年です。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	液晶プロジェクター
本体形名	CP-X4020 J (CP-X4020)
お買上げ日	年　　月　　日
故障の状況	できるだけ具体的に
梱包材の有無	輸送いただく場合はお買い上げ時の梱包材をお使いください。梱包材が損傷していたり廃棄または紛失した場合はお知らせください。
ご 住 所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お 名 前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修理料金のしくみ

技術料　故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費などが含まれています。

＋

部品代　修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。

＋

出張料　製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

ご購入店名、ご購入日を記入しておいてください。サービスを依頼されるときに便利です。

ご購入店名	ご購入年月日
電話（　　）	年　　月　　日

長年ご使用のプロジェクターの点検をぜひ！

熱、湿気、ホコリ、煙草の煙などの影響や、使用度合いにより部品が劣化し、故障したり、時には安全を損なって事故につながることもあります。

愛情点検

このような症状はありませんか

- ●電源を入れても映像が出ない。
- ●映像が時々、消えることがある。
- ●変なにおいがしたり、煙が出たりする。
- ●電源を切っても、映像が消えない。
- ●内部に水や異物が入った。
- ●ランプが破裂した。

ご使用中止

故障や事故防止のため、コンセントから電源プラグをはずし、必ず販売店にご相談ください。

お客様ご相談窓口

日立家電品についてのご相談や修理はお買い上げの販売店へ
なお、転居されたり、贈り物で頂いたものの修理などで、ご不明な点は下記窓口にご相談ください。

修理などアフターサービスに関するご相談は

TEL 0120-3121-68
FAX 0120-3121-87

（受付時間） 365 日 /9:00 ～ 19:00

商品情報やお取り扱いについてのご相談は

TEL 0120-3121-19
FAX 0120-3121-34

（受付時間） 9:00 ～ 17:30

携帯電話、PHS からもご利用できます。（日曜・祝日と年末年始・夏季休暇など弊社の休日は休ませていただきます。）

商標について：

・Microsoft®、Internet Explorer®、Windows®、Windows NT® は、Microsoft Corporation の登録商標です。
・Pentium® は、Intel Corp. の登録商標です。
・PowerPC® は、International Business Machines Corporation の登録商標です。
・Adobe®、Acrobat®、Reader® は、Adobe Systems Incorporated の登録商標です。
・Mac®、Macintosh®、Mac OS® は、Apple Inc. の登録商標です。
・VESA および DDC は Video Electronics Standard Association の商標です。

その他の社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

日立コンシューマエレクトロニクス株式会社
ソリューションビジネス事業部
神奈川県横浜市戸塚区吉田町 292 番地　〒 244-0817
URL　http://www.hitachi.co.jp/proj/

QR78821

Printed in China